

2011年度(平成23年度)学校評価自己評価表

最終更新日	2011年(平成23年) 3月25日
-------	-----------------------

校番 80	福山市立 道上 小学校
-------	-------------

1 学校教育目標

豊かな心を育てる教育の創造
めざす子ども像「心やさしく 気は強く じょうぶな子」

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

伝統あるよき校風を大切に、地域に夢と希望を与える存在として、地域・保護者との信頼と協同の下に、一人一人に応じた、確かな学力、豊かな心、たくましい体を育てる。また、学びの意義を実感させたり、自信を持たせたりする教育を実施する。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

1 信頼される学校

- ・確かな年間指導計画や6年間を見通した教育計画に基づき、1時間1時間その時間のねらいを明確にし、学力を確実につける授業をしている
- ・自主自律、協同の精神に基づき、規律ある生活ができています
- ・学習を支える美しい環境ができています

2 開かれた学校

- ・情報公開と地域との深い連携ができています

3 人材の育つ学校

- ・地域、学校のため自己のため責任ある組織的動きができる
- ・授業力、学校力、人間力を高めようと常に研究と研鑽をする

3 自校の現状分析

1 CRT学力テストでは、読解力、数学的思考力が全国平均を上回っているが他の観点に比べると課題がある。朝ドリルや教科等外での学力補充を充実させ、国語科、算数科の定着率を伸ばす必要がある。

2 道徳学習や生活指導の取り組みにより、あいさつ、清掃活動は、進んでできる子が増え、規律ある生活ができてきている。今後、規範意識を育て、質の向上を図るため、毎月の生活アンケートの取組みを充実させたり、自己評価、他者評価を効果的に取り入れたりする必要がある。

3 音楽や絵画での創造活動を通して、表現力を高め、感動する心や自己肯定感を育てたいと取り組んできた。道徳の価値意識「美的青果」を育てるため、引き続き指導力を高める必要がある。

4 新体力テストの結果では、上体おこしと反復横跳びが全国平均を下回った。日々のサーキットトレーニングや日常的な遊びの工夫をして体力を向上させる必要がある。

5 授業の流れ、指導の基本など学校総体の取り組みをさらに進め、授業力をつける必要がある。

4 研究主題

(1) 研究主題

学ぶことが喜びとなる授業の創造
—協同的な学びのある授業をめざして—

(2) 研究指定

指定	事業名等	期間
福山市	教育研究支援事業 (外国語活動)(道徳)	2011(平成23)年度～ 2013(平成25)年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
<ul style="list-style-type: none"> ・読解力、思考力を育てる指導計画と実践をする。 ・きまりを守ることの意義が分かり、きまりを守ることができる児童を育てる。 ・総合単元的な道徳学習の充実を図り、児童が行動化できるようにする。 ・つける力を明確にし、分かる喜びを味わわせる授業への一層の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の継続であり、確かな学力面での学校の課題でもあるため。 ・なぜ、きまりを守らなければならないかを十分に意識して行動させるため。 ・日常的に善悪の判断・規範意識を育て、よりよく生きるための実践力を高め、実践につなげるため。 ・学力の定着と学ぶ意欲を育成するため。

6 評価基準

評価・指標評価	基準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	(中間) 評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組みに着目)	(中間) 指標 評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標 の達成状況 ◎ 改善方策
確かな 学力	3	授業の質を高め、 基礎基本の力を確 かなものとする。	★	継続	「学ぶことが楽しい」 と言える児童を8 8%以上にする。		◇月ごとに国語、算数の定着度を各観点別に確認し、重点的に繰り返し指導を行う。学力テストで全国平均を超えている児童が80%である。		
				★			継続		
豊かな 心	3	自己肯定感の育 成、自立の育成、 自己責任の明確化 を柱に、子どもの 心を育てる生徒指 導に取り組む。	★	継続	自己肯定感を持って いる児童を85%以 上にするための教育 活動を工夫する		◇体育祭・祖父母集会・学芸祭などの学校行事で、低・中・高学年ごとに児童に具体的なめあてを持たせ、行事後に児童アンケートなどで振り返らせ、充実感を味わうことができている児童が95%である。		
				★			継続		

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

						目標ページを決め、月末に達成状況を把握する。達成率90%である。		
健やかな体	3	たくましく生きるための健康・体力作りを進め、健康保持増進の態度を育てる。	見直し	体力作りに取り組む児童を85%にする。		◇体育の時間にセット運動を行い、各自目標を持たせる。体力テストの項目の80%が県平均を超えている。		
						▽晴れた日にサーキット運動の一種目、ジョギング、なわとびを行っている児童が80%である。		
						◇食育の日を中心に1週間、食品群の赤・緑・黄を食べることを意識させ、「ささえ」に記入させる。朝食を食べてくる児童、給食を残さず食べる児童が93%である。		
力量ある教職員	3	専門性を高める研修により、経験や職能に応じた能力を高める。	★ 継続	授業力が向上したと言える教師を100%にする。		◇協同的な学びのある授業を仕組み、児童が自分の考えをもつことができる授業が85%である。		
						▽毎時間、学習の流れの分かる板書計画とノート指導の基本に沿ってノート指導計画を立てて指導しているという指導者評価が90%である。		
						◇総合単元的な道徳学習構想図を作成し、意識の流れを意図した総合単元的な道徳に取り組んでいる指導者評価が90%である。		
						▽研究授業を1人年間3回以上実施し、成果と課題を提示する。		
市民から信頼される学校	3	情報を共有し、家庭と協働し、教育活動を充実させる。	継続	保護者アンケートによる満足度を96%にする。		▽毎月の学校評価委員会で学校評価自己評価の進捗状況を交流し、改善策を提示する。最終評価Aが80%である。		
						▽教育活動の様子を学校だよりや学年だよりで1カ月2回以上発信する。ホームページの更新率が90%である。		
						◇学級懇談会の内容を保護者が興味を持つようなものにし、本部やPTA学年部に学級懇談会の参加を呼びかけてもらうとともに、学年だよりや学校だよりで啓発する。学級懇談会の参加率が60%である。		